

平成22年3月15日

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 小美玉市立玉里小学校

担当教諭名 萩原達夫

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成22年2月25日(木) 9:30 ~ 13:30
対象学年と人数	1~6年 239名
活動の内容	<p>1 講師 アトラ・アルデカニさん(女性, オーストラリア出身) 木下千恵さん(女性, パラグアイ出身)</p> <p>2 コーディネーター 會田早苗さん, 菊地方美さん</p> <p>3 活動内容 (1) 木下千恵さん(4, 5, 6年 各45分) 自己・パラグアイの紹介 パラグアイに着いて勉強しよう ア カードを使ってスペイン語の1~10を紹介 イ スペイン語の数字を使ったゲーム ウ スペイン語を使ったじゃんけん エ パラグアイのお菓子・お茶の紹介。 (2) アトラ・アルデカニさん(1, 2, 3年生 各45分) 自己・オーストラリアの紹介 オーストラリアについて勉強しよう ア オーストラリアの動物について(×ゲーム) イ おおかみさん今何時?</p>
コーディネーター	會田早苗
生徒・保護者等参加者の感想	<p>・ワールドキャラバンでパラグアイのことを勉強しました。わたしはパラグアイという国のことをぜんぜん知りませんでした。パラグアイは日本の丁度反対側にあることや、国旗に裏と表があることが分かりました。また、角の形をしたコップを見せてもらいおもしろいと思いました。最後にパラグアイのお茶やお菓子をごちそうしてもらいました。とてもおいしかったです。 (4年女子)</p> <p>・ワールドキャラバンでオーストラリアという国の勉強をしました。最初にオーストラリアの動物についてクイズをやりました。コアラやカンガルーの問題が出ました。難しかったけど楽しかったです。次に、だるまさんがころんだのようなゲームをしました。ぼくは鬼になったとき、英語で言わなくてはいけなかったのが大変でしたがとても楽しかったです。今度はどこの国の人か来るのが楽しみです。</p>
先生の感想	<p>今回のワールドキャラバンは、10月に実施した時と同じ講師で学年を変えて実施しました。そのため、準備や打合せが比較的容易で運営も非常にスムーズに行うことが出来ました。また、講師の先生も前回よりも内容や進め方が素晴らしいようになっており、子どもたちにとってもより分かり易く楽しめる内容となっていました。昨年度までは1~3年、4~6年の集団で行っていましたが、本年度は学年単位で行ったため講師の先生が身近になりアットホームな雰囲気で行うことが出来ました。来年度以降も、実施方法を工夫しながら継続していきたいと考えています。</p>